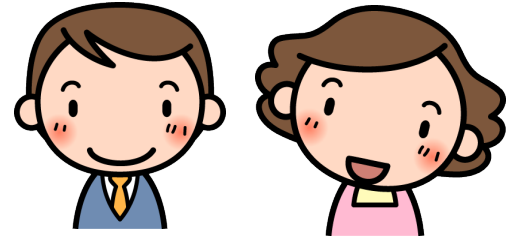




11月22日を語呂合わせで「いい夫婦」と読めます。この日を選んで結婚式を挙げる方や車のナンバーに選んで仲の良さを表現しているご夫婦もあるようです。

1 1 2 2
いい夫婦



一方で「夫婦げんかは犬も食わない」といいますから、夫婦は昔からよくケンカもするようです。では、なぜ夫婦はケンカをするのでしょうか？

A1について研究している黒川伊保子さんの研究成果によると、男性の脳と女性の脳では思考回路が全く逆であり、そもそも話がかみ合わないとのこと。ですから夫婦がケンカをするのは当然の結果ともいえるようです。

男性の脳と女性の脳の違いは右脳と左脳をつなぐ脳梁（のうりょう）の太さが異なることが原因です。女性は一般的に脳梁が男性より太く、感情的な右脳と論理的な左脳との間で情報が連携しやすくなります。逆に男性は脳梁が細く、右脳と左脳との連携が弱いのです。

必ずしも性別で思考に差があるのではなく、脳梁の太さによって脳全体としての働きに差が生じるために、一般的に脳梁の太い女性に多く見られる思考となるのか、脳梁の細い男性に多く見られる思考となるのかの違いです。

女性的な思考とは、目の前のものを見て、自分の身の危険を瞬時に察知し、あるいは自分の感覚に重きを置いた判断をします。男性的な思考とは、遠くを見て、論理的にものごとを処理します。物事を説明するときには、女性は順序立てて話をし、男性は結論から話をします。この違いを認識して対応しないと、相手に対して感情がないとか、回りくどいと感じてしまい、不快感を持ってしまいます。

人はこの差を太古から活かして、女性は目の前の危険に気づき家族を守り、また、子を産み育てるために自身の健康を維持し、男性は遠くに意識を持ちやがて来る危機に備えてきたのです。お互いの差を活かすことで長い歴史を生き延びてきたのです。

この相反する機能を同時に処理すると真逆の選択をすることになり、機能を停止してしまいます。そのため、人はどちらかの脳が優位になるようになっていくという説があるそうです。

人工知能を持つアンドロイドができたとしても、その脳は性差を持つことになるのでしょうかね。

脳の仕組みからもわかるように、違いがあってもいいのです。その違いを認識し補い合って良い結果を獲得しましょう。

校長 松川 明義



【行事予定】11月22日(火)：人権教育公開LHR（3年）
23日(水)：勤労感謝の日
26日(土)：中学校保護者対象学校見学会
来週は2学期期末考査です



米工 HP